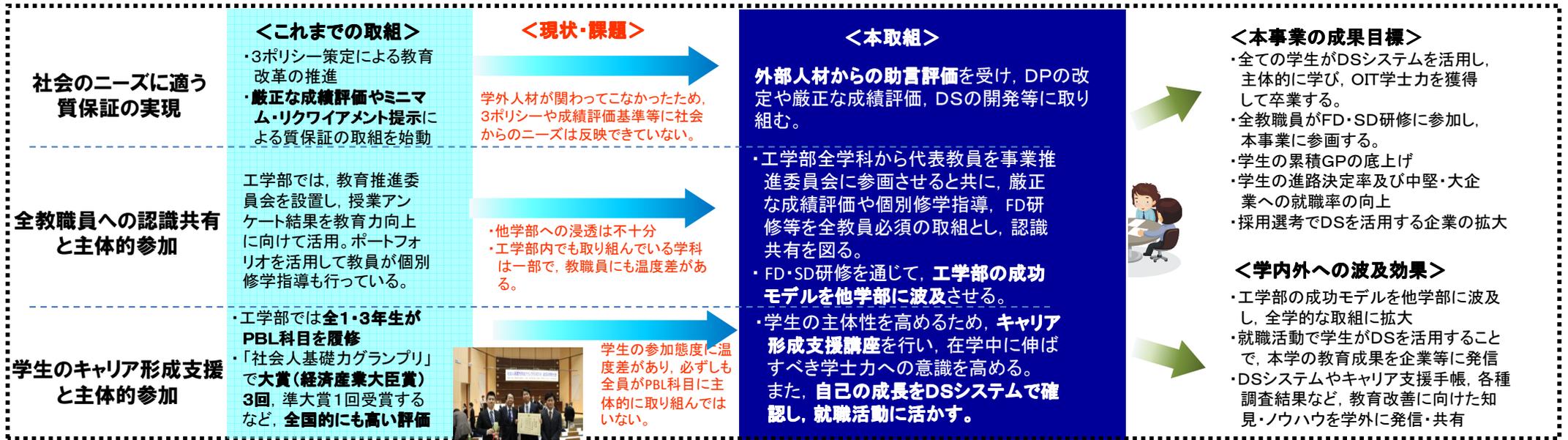


大学等名：大阪工業大学

テーマ：テーマV（卒業時における質保証の取組の強化）

本学ではこれまで3ポリシーの整備や教育課程の改定、FD推進など、全学的に教育力向上の取組を進めてきた。更に平成28年3月に学長方針「適正な成績評価基準に基づく厳正な成績評価の実施」を示し、各授業科目のミニマム・リクワイアメントの明確化、教育の最低限の質確保の取組に着手した。

本事業では、これらの改革を更に加速するため、独自の「ディプロマ・サプリメント・システム」を構築し、学生の学修成果を可視化すると共に、システムを用いて教員が個別面談を行い、学生の自律的学修を促す修学指導を行う。また、外部人材と協働で、在学中の学修成果をまとめたディプロマ・サプリメントを開発し、就職活動等での活用を目指す。更に全教職員を巻き込み、社会のニーズに適う質保証と教育改善サイクルを全学的に確立する。



【事業の成果】	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	31年度 (目標値)
学生の授業外学修時間(1週間当たり)	24時間	30時間	36時間	48時間
卒業生追跡調査の実施率(調査回答者数/卒業生数)	0%	0%	10%	15%
DSシステムを用いた修学指導の実施率(指導済み学生数/全学生数)	0%	50%	60%	80%



■本事業により期待される改革効果

外部人材からの助言評価を受けてDP改定や厳正な成績評価、DSの開発等に取り組むこと、学生が就職活動でDSを活用することにより、**社会のニーズを踏まえた教育の質保証と教育改善サイクルを確立**できる。

■本事業による大学全体への影響

FD・SD研修へ全教職員必参加とすることで認識共有を図り、**全学的な取組を確立**する。また、教員はDSシステムを用いて個別修学指導を行うことにより、学生の成長を目の当たりにし、学生指導や教育へのモチベーションを高める。